

厚生・衛生・環境

108. 社会保障

近年の社会福祉の動向は社会経済の変化によって福祉ニーズが質的に変化、多様化してきている。すなわち、従来は年金の増額、施設の増設という経済的、物質的な充実に向けられてきたが、最近はこれらに加え、心の福祉の展開が求められるようになり、県では県政の重点施策として「地域ぐるみ福祉の推進」「児童福祉の充実」「老人福祉の充実」を図っている。

県内の福祉施設数は1,522か所で、前年に比較して30か所増加し、特に児童福祉施設は11か所の増加となった。また、生活保護法による平均被保護世帯数は14,242世帯で、平均被保護実人員は26,766人で、前年度と比較すると、それぞれ1.5%増、0.5%増となっている。

保護費は264億円で、内訳をみると医療扶助が最も高く144億円(54.5%)、生活扶助92億円(34.7%)となっている。

年	社会福祉施設数							
	総数	(うち) 保護施設	(うち) 老人福祉施設	(うち) 身体障害者更生施設	(うち) 精神薄弱者援護施設	(うち) 児童福祉施設	(うち) 婦人保護施設	(うち) 母子福祉施設
昭和54年	1 270	6	70	10	12	1 130	2	1
55	1 347	7	77	11	15	1 188	2	1
56	1 415	7	88	15	17	1 228	2	1
57	1 460	7	98	15	21	1 254	2	1
58	1 492	7	102	16	23	1 275	2	1
59	1 522	7	110	16	25	1 286	2	1

年 度	生活保護法による保護状況						
	平 均 被 保 護 世 帯 数	平 均 被 保 護 実 人 員	保 護 費 (100万円)				保 護 率 (人 口 1000人 につき)
			計	(うち) 生活扶助	(うち) 医療扶助	(うち) 教育扶助	
昭和54年度	13 716	27 506	19 964	6 972	11 145	359	5.9
55	13 767	27 297	21 101	7 401	11 669	364	5.8
56	13 726	26 881	22 794	7 935	12 619	382	5.6
57	13 859	26 852	24 092	8 482	13 157	387	5.5
58	14 033	26 640	24 689	8 775	13 261	385	5.3
59	14 242	26 766	26 440	9 168	14 402	382	5.3

注) 社会福祉施設数、生活保護法による保護状況は厚生省報告例による。社会福祉施設数は各年10月1日現在。

資料 厚生省大臣官房統計情報部「社会福祉施設調査報告」, 「社会福祉行政業務報告」